

(別紙1)「工事費内訳書」記載例(土木工事用)

【 注 意 事 項 】

令和〇〇年〇月〇日

さつま町長 様

住 所 さつま町□□□〇〇番地〇

商号又は名称 株式会社 〇〇建設

氏 名 代表取締役 〇 〇 〇 〇

紙による代理入札のみ → 代 理 人 〇 〇 〇 〇 印

工 事 内 訳 書

工 事 名	道路改良工事 (〇〇工区)
工事場所	さつま町 〇〇 地内

工種等	見積金額 (円)										割合 (%)
道路改良			6	1	3	9	7	0	6	2	100
土工			1	8	1	8	6	1	5	2	30
法面工			1	5	6	7	8	9	4	3	25
擁壁工			2	3	8	5	4	9	1	5	39
雑工				3	6	7	7	0	5	2	6
直接工事費			6	1	3	9	7	0	6	2	100
うち材料費			3	8	3	6	9	0	6	2	
うち労務費			2	3	0	2	8	0	0	0	
共通仮設費				5	7	0	3	7	8	7	
現場管理費			1	0	4	7	4	4	4	2	
うち法定福利費の事業主負担額				2	5	0	0	0	0	0	
うち建退共制度の掛金					2	9	5	0	0	0	
一般管理費等				8	7	5	9	7	0	9	
工事価格			8	6	3	3	5	0	0	0	
うち安全衛生経費				1	5	0	0	0	0	0	

株式会社 〇〇建設

※ 日付は、応礼日を記載する。

※ 住所欄は、入札参加者の所在地、氏名欄は、商号又は名称、代表者名を記載する。

※ 紙入札の場合は、代理入札のみ必ず押印のこと。(それ以外は場合押印不要です。)

※ 代理による入札の場合は、代理人氏名も記載する。

※ 記載事項を加除訂正した場合は、訂正印を押印する。

※ **工事名、工事場所は、入札参加指名通知書又は公告文に基づき記載する。**

※ 工事の工種毎に見積金額を記載する。

※ **積算体系のレベル2「工種」まで記載する。**

※ 直接工事費については、各工種一式にて計上し記載する。

※ 「割合」欄には、直接工事費に対する工種毎の割合(%)を記載する。

※ **「工事価格」は、入札書記載額と一致させること。**

※1 複数枚になる場合は、欄外下段に会社名を記載のこと。

※2 建築用の場合は「工事原価のうち法定福利費の事業主負担額」「工事原価のうち安全衛生経費」とする。